



2025年5月吉日

【プレスリリース】

各位

GOTS年次報告2024

## Global Standard、年次報告書2024を発表： オーガニックテキスタイルバリューチェーンの改善に向けた先駆的な進展と ビジョンを強調

### 2024年のハイライト：

- GOTSバージョン7.0の完全実施
- GOTSバージョン8.0に向けた改訂プロセスの開始
- GOTSに加わる初の追加基準をGlobal Standardアドバイザリーカウンシルが承認
- オーガニック農地と非オーガニック農地を判別するAI衛星プロジェクトの結果発表
- #Behindtheseamsキャンペーンが7,000万以上のユニークユーザーにリーチ
- GOTS認証施設数の前年比5%増加
- Global Standardが掲げる今後の目標をもとにしたビジョンとミッションの更新

Global Organic Textile Standard (GOTS) を所有・管理する非営利団体Global Standard (シュトゥットガルト、ドイツ) は、オーガニックテキスタイル業界におけるGOTSの世界的な役割と貢献をまとめた年次報告書2024を発表しました。新たな自主的サステナビリティ基準の発表や、何千万もの消費者を対象とした啓蒙・教育キャンペーンを通じて、昨年は、オーガニックテキスタイルを通じて人々の暮らしと環境をより豊かにする未来に向けた取り組みが着実に進展した一年となりました。

前年に続き順調に推移し、2024年は26の承認された認証機関から、87か国にわたる15,441の認証施設（前年比5.2%増加）が報告されました。

Global Standardのマネージング・ディレクターであるClaudia Kerstenは、次のように述べています。「2024年は、特にヨーロッパを中心に、世界各地でバリューチェーンに関する規制が進展したことで、Global Standardの取り組みの必要性がさらに高まりました。以前から、インパクトと発展を促す中心的な役割を担ってきた自主的サステナビリティ基準は、近年ではコンプライアンス対応の戦略的ツールとしても位置づけられ、持続可能な変革を牽引する存在として、その役割を広げています。人権デューデリジェンスへの対応や、インテグリティを強化するための最新技術の活用においても、Global Standardは引き続き最前線で取り組みを進めています。」

## GOTSバージョン7.0の実施完了と、バージョン8.0の改訂開始

2023年3月にリリースされたGOTSバージョン7.0は、これまでで最も強化されたデューデリジェンス要件を盛り込んだ改訂版となり、2024年3月1日より全面的に実施されました。Global Standardは、認証取得事業者によるデューデリジェンス要件への対応を支援するため、オンライン研修を整備したほか、2024年11月には監査員向けの包括的なデューデリジェンス・ハンドブックを発行しました。

バージョン7.0の実施完了後、GOTSバージョン8.0に向けた改訂作業が開始され、25名のメンバーからなる基準改訂委員会の設置が進められました。バージョン8.0の第1次パブリックコメント期間はすでに終了しており、現在は提出された意見に基づく審議が基準改訂委員会によって行われています。バージョン8.0では、サーキュラーエコノミー（循環型経済）への対応、気候変動が労働者の福祉に与える影響の緩和、デューデリジェンス要件のさらなる改善などが盛り込まれる予定です。

## 実績ある基盤をさらに発展

持続可能性に関する包括的な枠組みへの需要の高まりを受け、Global Standardは、自主的サステナビリティ基準を策定する組織へと進化を遂げつつあります。設立から22年の歴史での、Global Standardは2024年に初めて組織のビジョンとミッションを改訂し、単一の基準を超えて活動領域を広げる方針を打ち出しました。スコープの拡大を伴う戦略的な転換により、繊維産業の多様な分野に向け、持続可能性に対応した個別ソリューションの提供体制を確立してまいります。

Global Standardのマネージング・ディレクターであるRahul Bhajekarは、次のように述べています。「GOTSの成功と価値を基盤に、Global Standardのインパクトをさらに強化し、多様な持続可能性課題を支援するとともに、グローバルバリューチェーン全体のステークホルダーの取り組みを後押ししていきたいと考えています。」

新たな基準は、ISEALの原則に則り、2025年にパブリックコメント募集を経て、正式リリースされる予定です。

## 不正防止に向けた衛星監視

2024年9月、Global Standardは、欧州宇宙機関およびAI企業Marpleとともに、インドで実施した革新的な衛星コットンモニタリングプロジェクトの成果を発表しました。本プロジェクトでは、コットン畠の検出において97%、有機栽培か否かの判別において80%以上という高い精度が実証されました。

この革新的なプロジェクトは、Global Standardと欧州宇宙機関の Business Applications and Space Solutions (BASS) の共同出資により実施されており、業界が直面する重要な課題への対応に取り組んでいます。農場の有機認証プロセスを促進することでオーガニックコットンの供給拡大を目指すとともに、繊維のインテグリティを確保する可能性も有しています。Global Standardは、この技術が他地域や他の繊維原料にも応用され、作物モニタリングのあり方に変革をもたらすことを期待しています。

## 消費者教育のさらなる推進

ステークホルダーおよび消費者教育への継続的な取り組みの一環として、Global Standardは #BehindTheSeams キャンペーンを1か月にわたり展開し、過去最大規模で実施しました。これにより、世界中で7,000万以上の人々にリーチし、265のGOTS認証ブランドが参加しました。2024年9月の期間中、消費者は behindtheseams.eco を訪れ、トリビアクイズに回答して、パリ旅行または新しいマットレスが当たる豪華賞品の抽選に参加しました。さらに、GOTS認証ブランドによる毎日のSNSプレゼント企画を通じて、消費者とブランドのエンゲージメントが高まり、オーガニックの重要性に対する認知も促進されました。

## 日本の動向について

2024年末時点で、日本におけるGOTS認証施設および認証事業者数は、わずかな変動はあったものの、前年と概ね同水準でした。一方で、企業の関心は依然として高く、特に繊維加工施設を含む企業向けセミナーに関する問い合わせが増加しました。また、繊維業における特定技能外国人の受け入れに際して必要とされる追加要件として、GOTSが国際的な社会基準への適合を証明する手段の一つとして認められたことは、国内企業にとって実務面での新たな利点となりました。

2024年6月には、「繊維・ファッショング産業の持続可能な事業モデルへの転換に企業が果たすべき役割とは～日本国内のGOTS認証導入事例～」をテーマに、WWFジャパンとの共催でセミナーを開催しました。また、同団体主催のブランド・メディア関係者向けGOTS工場見学ツアーを通じて、関係者間の理解が深まるとともに、複数のメディアでGOTSが取り上げられ、情報発信の場も拡大しました。今後も、日本国内での認証取得を促進するため、業界内における知見の共有や連携体制の強化を図り、GOTSのさらなる浸透に努めてまいります。

年次報告書2024(英語)は[こちらから](#)ご覧ください。

年次報告書2024の特設ページ(英語)は[こちらから](#)ご覧ください。

###

## *Global Standardについて:*

非営利の自主的サステナビリティ基準策定団体であるGlobal Standardは、オーガニックテキスタイルの原料から最終製品に至るまでの加工工程を対象とする、世界有数の認証基準であるGOTS (Global Organic Textile Standard) を所有・管理しています。Global Standardは、テキスタイルのバリューチェーンにおける自主的なサステナビリティ基準の策定と関連活動を通じて、最高水準の社会的および環境的インパクトを実現することをミッションとし、すべてのテキスタイルが「健康」「生態系」「公正」「配慮」の原則に基づいて生産されることで、人々の暮らしと環境が向上する世界の実現を目指しています。

詳細については、[www.global-standard.org](http://www.global-standard.org)をご覧ください。

### **Global Organic Textile Standardについて：**

GOTS (Global Organic Textile Standard) は、非営利団体Global Standardが管理する、オーガニックテキスタイルの認証におけるリーディングスタンダードです。原料の収穫から最終製品まで、繊維製品のバリューチェーン全体にわたり、厳格な環境および社会的要件を策定しています。GOTS認証は、オーガニックテキスタイルの完成品のインテグリティを確保し、業界に包括的な解決策を提供し、世界中の消費者に保証を提供します。さらに、GOTS認証のルールやツールは、企業が法規制に対応する手助けをするだけでなく、それを超えた取り組みを可能にします。

詳細については、[www.global-standard.org](http://www.global-standard.org)をご覧ください。

 @globalorganictextilestandard

 @gots\_japan

 @globalorganictextilestandard

 Global Organic Textile Standard

 Global Organic Textile Standard gGmbH

### **お問い合わせ：**

GOTS ジャパン・リプレゼンタティブ 松本フィオナ

メール：[matsumoto@global-standard.org](mailto:matsumoto@global-standard.org)